

國學院大學學術情報リポジトリ

出版物紹介

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000627

出版物紹介

川嶋麗華『ノヤキの伝承と変遷——近現代における火葬の民俗学的研究——』

(岩田書院、2021年2月)

内容紹介

本書は、高度経済成長期まで各地域にみられたノヤキと呼ばれる火葬習俗と、近代以降に普及した火葬場における火葬から、近現代における火葬の伝承と変遷の動態を考察したものである。民俗学を中心に成果の豊富な葬送習俗に関する研究の中でも、遺体処理の実態についてはあまり注目されてこなかった。本書では、「伝承」と「変遷」の両側面から、全国的な民俗調査の報告書類および著者による丹念な実地調査の結果を踏まえた分析が展開される。広島県旧朝日町・愛知県旧八開村の事例からはノヤキの伝承と変遷が、岐阜・東京・鳥根の火葬場の事例からは近代以降の火葬炉の成立と火葬場の普及が追跡される。また両墓制地域である福井県大島地域の事例からは火葬の受容と葬送習俗の変化が描かれている。



一戸渉監修/展示図録執筆『蒐められた古——江戸の日本学——』

(第33回慶應義塾図書館貴重書展示会) (慶應義塾図書館、2021年10月)

内容紹介

江戸時代は自国を対象とする学問「和学」が花開いた時代であった。本書は、和学研究の機運が高まる18世紀において数々の好古家（古い事物を好み、その蒐集や研究を精力的に行う者）と交流し、1200点を超える文物を蒐集した橋本経亮はしもとつねすけのコレクション「香果遺珍」こうか いちんを中心に、好古家たちが蒐集・整理・記録した資料を公開した「第33回慶應義塾図書館貴重書展示会」の展示物に関する図録である。慶應義塾図書館の調査研究後、初公開となる「香果遺珍」をはじめとした貴重な資料群から、近世日本が持つ独自の文化的様相を明らかにする。八章にわたるフルカラー資料や詳細な展示解説のほか、総説や印譜・年譜を載せる。



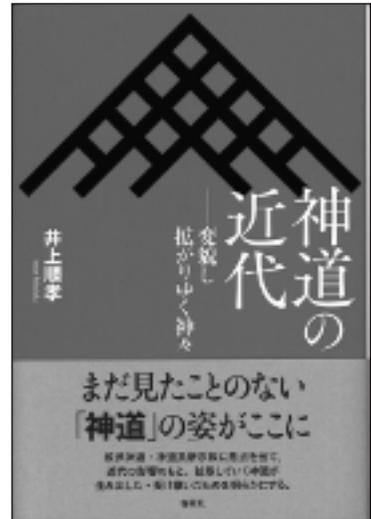
井上順孝『神道の近代——変貌し拡がりゆく神々——』

(春秋社、2021年10月)

内容紹介

本書は、教派神道・神道系新宗教に焦点を当て、近代の影響のもと、神道が何を新しく生み出し、前近代から何を受け継いできたのかを明らかにするものである。また、教派神道・神道系新宗教の設立過程や活動の特徴から、近代に生じた社会変動が神道に及ぼした影響を考察している。そして、日常生活の中で生じた問題に応答しようとする教派神道・神道系新宗教に注目することで、祭祀だけでなく、神道が社会生活の中でどのように人々に関わっているのか検討を試みた。

加えて、現代における神道を取り巻くジェンダーや情報化、グローバル化に関する問題を扱うことで、神道の現代的展開をも捉えている。



櫻井義秀・平藤喜久子編著『現代社会を宗教文化で読み解く——比較と歴史からの接近——』

(ミネルヴァ書房、2022年3月)

内容紹介

本書は、現代の日本社会、あるいは広く現代社会における文化現象の根底にさまざまな形で見いだすことができる宗教文化について、歴史的な視点と比較の視点の双方向から読み解き、読者に提示する一冊である。扱われるトピックは多彩であり、神話、葬送、ジェンダー、戒律、経営、都市化、スピリチュアル・ツーリズム、リベラリズム、カルト問題、認知宗教学の計10のテーマが、それぞれの分野の第一人者により、各一章を使ってコンパクトに、かつ具体的な素材をもって説明されている。各章には内容のポイントやキーワード、読書案内もつけられ、読み応えのある内容ながら初学者にも広く門戸を開いた構成となっている。

